

令和 7 年度「広島市児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について（報告）

1 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要

(1) 調査目的

- ア 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査対象校数等

ア 調査対象

広島市立小学校第 5 学年児童、広島市立広島特別支援学校小学部第 5 学年児童
 広島市立中学校第 2 学年生徒、広島市立広島中等教育学校（前期課程）第 2 学年生徒
 広島市立広島特別支援学校中学部第 2 学年生徒

(3) 調査実施期間

令和 7 年 4 月～7 月

(4) 調査事項

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 実技調査

(イ) 質問調査（小学校 17 項目 中学校 17 項目）

運動習慣、体育・保健体育の授業等に関する質問調査

イ 学校に対する質問調査（小学校 18 項目 中学校 17 項目）

児童生徒の体力向上に係る取組、体育・保健体育の授業等に関する質問調査

ウ 教育委員会に対する質問調査（6 項目）

子供の体力向上に係る施策等に関する質問調査

2 調査結果

(1) 本市と全国の体力合計点の比較 ※（ ）内は令和 6 年度の値

	小学校 第 5 学年		中学校 第 2 学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	52.4 (51.8)	53.0 (52.8)	41.0 (41.4)	46.5 (46.3)
全国	53.0 (52.5)	54.0 (53.9)	42.1 (41.7)	47.5 (47.2)

- 広島市の体力合計点は、令和 6 年度と令和 7 年度を比較すると、小学校では男女ともに上回っており、中学校では男子が下回っており、女子は上回っている。全国と比較すると、小・中学校男女ともに下回っている。

(2) 本市と全国の児童生徒質問調査の比較 ※ () 内は令和6年度の値
ア 体育・保健体育授業及び1週間の総運動時間について

	体育・保健体育の授業が楽しい(肯定的回答) (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	95.2 (94.9)	87.6 (90.7)	94.4 (94.6)	83.7 (84.7)
全国	94.6 (94.6)	88.1 (90.0)	93.0 (91.4)	84.3 (83.7)
	1週間の総運動時間420分以上(体育・保健体育授業以外) (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	50.5 (53.1)	28.3 (31.7)	70.1 (74.3)	47.5 (52.0)
全国	48.1 (50.5)	26.5 (28.5)	76.6 (77.6)	55.7 (56.3)
	1週間の総運動時間0分(体育・保健体育授業以外) (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	5.3 (4.4)	8.8 (6.3)	9.6 (8.8)	18.1 (18.5)
全国	5.3 (4.8)	8.7 (7.0)	7.7 (7.5)	17.1 (16.6)

- 「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答する児童生徒の割合は、小・中学校ともに男子は全国を上回っており、女子は全国を下回っている。
- 「1週間の総運動時間420分以上」の児童生徒の割合は、小学校では全国を上回っており、中学校では全国を下回っている。
- 「1週間の総運動時間0分」の児童生徒は、小学校男子は全国と同じであり、小学校女子と中学校では全国より多くなっている。小学校女子と中学校は全く運動しない児童生徒が多い傾向にある。

イ 生活習慣について

	朝食を毎日食べる (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	82.2 (81.4)	79.3 (78.5)	82.6 (83.1)	73.4 (74.9)
全国	82.5 (81.3)	80.4 (79.5)	82.0 (81.7)	74.6 (74.5)
	スクリーンタイム2時間未満 (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	39.9 (36.6)	43.0 (42.8)	22.5 (23.3)	21.7 (21.9)
全国	36.9 (35.5)	43.0 (41.9)	23.5 (24.1)	24.3 (25.5)
	1日の睡眠6時間未満 (%)			
	小学校 第5学年		中学校 第2学年	
	男子	女子	男子	女子
広島市	4.1 (3.6)	2.7 (2.8)	5.7 (6.4)	8.5 (9.9)
全国	3.5 (3.3)	2.4 (2.4)	6.1 (6.7)	8.6 (9.5)

- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合は、小学校と中学校女子は全国を下回っており、中学校男子は全国を上回っている。
- 「スクリーンタイム2時間未満」の児童生徒の割合は、小学校では全国と同じか上回っており、中学校では全国を下回っている。中学校はスクリーンタイムが多い傾向にある。
- 「1日の睡眠6時間未満」の児童生徒は、小学校では全国より多く、中学校では全国より少なくなっている。小学校は睡眠時間が少ない傾向にある。

3 今後の取組

(1) 各学校の取組

○ 授業の取組

- ・ 年度当初に前年度の結果をもとに作成する「体力向上推進計画書」について、前期の終わり頃に今年度の結果を踏まえて取組内容を見直し、計画的に体力向上の取組を推進する。
- ・ 児童生徒が心と体を一体として捉え、健全な心身の発達を促すことができるよう、小学校では「運動領域と保健領域」、中学校では「体育分野と保健分野」を一層関連させた授業改善を推進する。
- ・ 「体力アップ運動事例集」等の活用により、体力の課題に応じた準備運動や主運動との接続を図る準備運動を取り入れた授業改善を推進する。
- ・ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の対象となる小5・中2以外の学年においても、学校が必要に応じて任意で体力や運動能力を測定する「新体力テスト」を実施する場合には、教育委員会が作成する記録シートを児童生徒が活用し、具体的な目標をもって意欲的に取り組めるよう、目標設定や振り返り等の工夫を行う。

○ 授業以外の取組

- ・ 児童生徒の運動習慣の定着や生活習慣の改善を目指した取組を行うとともに、その取組の成果や課題をホームページ等で家庭に発信する。

(2) 教育委員会の取組

○ 授業の取組

- ・ 各校が作成する「体力向上推進計画書」について、取組の進捗状況をアンケート等により把握し、必要に応じて指導助言を行う。
- ・ 小学校では「運動領域と保健領域」、中学校では「体育分野と保健分野」を一層関連させた授業改善が推進されるよう、研修会等で指導助言を行う。
- ・ 小学校の体力づくり推進リーダーや中学校の保健体育科教員を対象に実技研修会を行う。また、広島市小学校教育研究会や広島市中学校教育研究会と連携し、効果的な準備運動の在り方について検討する。さらに、Google クラウドの内容を充実させ、各校の好事例について動画や資料を閲覧できるようにするとともに、研修会等で積極的な活用を促す。
- ・ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の対象となる小5・中2以外の学年においても、学校が必要に応じて任意で体力や運動能力を測定する「新体力テスト」を実施する場合には、教育委員会が作成する児童生徒が自己の成長を視覚的に確認できる記録シートを紹介し、学校の実態に応じて活用を促す。

○ 授業以外の取組

- ・ 児童生徒の運動習慣の定着や生活習慣の改善を目指した取組が推進されるよう、指定校で成果のあった取組や各校の好事例を4月初めの研修会やGoogle クラウドを活用して全校に普及し、各校の積極的な取組を促す。また、PTA 協議会等の団体と連携し、生活習慣の改善に係る家庭への啓発を行う。

○ 指定校の取組

- ・ 体力向上重点指定校（小学校2校、中学校2校）において、研究推進リーダーを中心とした効果的な取組を公開研究会等で全校に普及することにより、児童生徒の体力向上に向けた継続的な取組を推進する。
- ・ 指定校において、体力テストデジタル集計システムを利用し、年間で複数回体力テストを実施するとともに、科学的な分析や取組の効果検証を行う。また、中学校では、指定校以外で体力に課題のある学校を6校抽出して同様の取組を行い、生徒の意欲向上を図る。
- ・ 小学校では、指定校2校を含む5校に体育の学習支援アプリを導入し、授業改善に取り組むとともに、取組の効果検証を行う。